

施策評価シート

令和 5 年度

総 体 系 計 画	分野	2	第2章	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	施策統括課	河川砂防課
	施策No.	2	施策名	安全で美しい河川環境の適切な管理	課長名 (施策統括責任者)	江口 弘行
	関係課	都市政策課 河川砂防課 北部建設事務所 南部建設事務所				

1. 施策の目標

めざす姿 (成果目標)	河川等が適切に整備・管理され、多くの市民が水辺に親しみを持てる環境が整っている。
取組方針	河川改修等による治水対策や急傾斜地の土砂災害防止対策などの緊急の課題解決に取り組みます。また、河川・水路の浄化や市民との協働による清掃活動を推進し、水辺空間の保全を図ります。

2. 施策の意図と成果指標

対象（誰、何を対象としているのか）*人や自然資源等	市民						
意図（この施策によって対象をどう変えるのか）	河川等が適切に整備・管理され、多くの市民が水辺に親しみを持てる環境が整っている。						
成果指標 A							単位
河川整備率							%
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標	
79.2	79.4 79.2	79.6 79.2	79.7 79.3	79.8 79.4	79.9 0.0	80.0	
成果指標 B							単位
急傾斜地対策事業による危険箇所解消率							%
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標	
60.7	62.5 60.8	63.5 62.8	64.0 63.1	64.0 63.6	64.5 0.0	65.0	
成果指標 C							単位
水辺空間に親しみを感じている市民の割合							%
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標	
69.6	73.2 73.3	73.7 72.1	74.2 71.9	74.7 70.4	75.2 0.0	75.7	
成果指標 D							単位
-							-
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標	
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0	
成果指標 E							単位
-							-
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標	
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0	

## 施策評価シート

### 3. 市民意向調査結果

施策の重要度	前回	今回	
重要である	61.3%	61.9%	↑
ある程度重要である	31.8%	31.1%	↓
あまり重要ではない	1.6%	1.0%	↓
重要ではない	0.1%	0.6%	↑
順位	2/36位	2/36位	⇒

施策の満足度	前回	今回	
満足している	5.4%	6.5%	↑
どちらかといえば満足	45.3%	45.3%	→
どちらかといえば不満	30.4%	30.8%	↑
不満である	6.9%	6.3%	↓
順位	21/36位	16/36位	↑

### 4. 社会潮流等の変化について（第2次総合計画策定時からの市民ニーズの環境の変化、法整備状況等）

○土砂災害や浸水災害に対する関心が高まっている。  
 ○少子高齢化等により河川清掃活動参加者が減少している。  
 ○河川・水路の浚渫・伐採の要望が増加している。  
 ○地域環境用水の確保について、強い要望が寄せられている。  
 ○これまでの河川清掃活動のあり方が問われている。  
 ⇒佐賀市水対策市民会議において、これからの河川清掃のあり方について協議している。

### 5. 施策を推進していく上での新たな課題、新たな視点

○これまで河川清掃を活動していた市民が高齢化し活動できなくなったことに加え、世帯内の河川清掃活動参加者の継承が進んでいないことにより、河川清掃参加者の減少傾向が続いている。  
 ○市街地内に流入する水量が限られており、市民が満足できる地域環境用水を確保できず、そのことが影響して河川・水路に鉄バクテリアが発生しやすくなったり、ごみ等の不法投棄が続いている。

### 6. 施策の課題解決に向けた今後の取組の方向性・内容等

○浸水被害軽減を図るため、河川や排水ポンプ場等の整備を推進する。  
 ○急傾斜地崩壊防止事業の推進を図るため啓発を行う。  
 ○河川・水路の浄化を図るため、河川清掃活動のあり方を検討し、効果的な啓発・支援を行う。  
 ○最も効果的な地域環境用水の配分となるよう多布施川水系の樋門開度について研究・検討を行うとともに、関係機関と調整する。  
 ○水遊び場については、引き続き開設し、更なる環境整備と啓発に努める。